

令和2年度使用西多摩地区町村立小学校教科用図書 選定教科書とその理由

西多摩地区町村立小学校教科用図書採択協議会

	算 数 (東京書籍)	理 科 (大日本図書)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導入に身近な事柄が挿絵で描かれ、基礎的・基本的な内容を押さえてから段階的に習熟度を上げていく配慮がなされている。</li> <li>○ 吹き出しやまとめで数学的な見方・考え方に下線や太字を施し強調している。さらに、統合的、発展的に考えられるような文言を付与している。</li> <li>○ 単元のまとめでは、タイトルに数学的な見方・考え方を使用している。</li> <li>○ 統計的な問題解決の方法をPPDACサイクルで解決することを促している。</li> <li>○ 「プログラミング教育」に関するページやデジタルコンテンツがある。</li> <li>○ 第5学年の「割合」は割増・割引の両方が問題として取り扱われている。</li> <li>○ 第5学年の「単位量当たりの大きさ」の単元の中で、「速さ」を取り扱っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決のプロセスが簡潔にまとめられている。それぞれの項目について着目すべき視点が書かれている。</li> <li>○ 「深めよう」という深い学びへと導く内容が自由研究にも使える内容となっているなど、学習内容と生活との関連が図られている。</li> <li>○ 全体的な情報量が精査されており、教科書をきっかけにしたり、具体的に体験したことや学んだことを統合したりするような構成になっている。</li> </ul>
構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元末に「算数の目」という数学的な見方・考え方がまとめられているページがある。</li> <li>○ 巻末に「ほじゅうのもんだい」や「おもしろもんだいにチャレンジ」がある。</li> <li>○ 各単元のはじめに、既習の学習をふりかえることができるページがある。</li> <li>○ 巻頭に「学びのとびら」がある。</li> <li>○ 各単元とも、適用の問題や習熟の問題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章が精査されており、簡潔にまとめられている。</li> <li>○ 問題解決の過程が色分けされており、学習過程における本時の位置付けを捉えられるようになっている。</li> <li>○ トピックでは、既習事項を想起する場面や、理科の見方・考え方を働かせることができる場面が設定されている。</li> <li>○ 問題に正対した結論文が明確に示されている。</li> <li>○ 巻末に機器の使い方を掲載したりして、知識・技能を確かめられるようになっている。</li> </ul>
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習問題は大きめの文字で読みやすくなっている。</li> <li>○ 細かい模様が入っている図やイラストが掲載されている。</li> <li>○ 新出用語は、黒字で太く書かれており、下線(波線)が引いてある。</li> <li>○ 問題の中と「まとめ」が書かれている所に虫眼鏡のマークがあり、学習問題とまとめの共通点を理解するための手助けになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「問題」「予想」「計画」「実験」「結果」の流れを示す項目のうち、「問題」の部分を大きく別書体を用いるなどして強調したり、「ふ化」「しん食」「蒸散」などの重要語句を強調表示したりしている。</li> <li>○ キャラクターが問答形式で、疑問点を話し合うイラストが掲載されている。</li> <li>○ 色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮されている、また、見やすさ読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。まとめられている。また、問題について予想を立てる際も教科書を見ながら考えることができる。</li> </ul>
使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年～第5学年は上下巻2冊の分冊で、第6学年は1冊で構成されている。</li> <li>○ 第1学年の第1・2単元のみA4判で、第3単元以降はB5判である。</li> <li>○ 第2学年～第6学年の巻末の索引は、算数用語をもとに対応する学習ページを調べることができる。</li> <li>○ 全学年の目次は学習の系統性がわかるようになっている。</li> <li>○ 吹き出しを使ったヒント(考えるための手がかり)が多用されている。</li> <li>○ 西多摩地区で研究された教材が扱われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3～第5学年では、「思考力・判断力・表現力等」を育む中に、プログラミング的思考の育成につながるプログラミングの体験が計画的に取り入れられている。第6学年では、プログラミング教育の1つであるMESHを使った場合の「暗くなると明かりがつく」、「明るくなると明かりが消える」という街灯と同じようなプログラムの例が紹介されている。</li> <li>○ ウェブサイトを活用したプログラミング教育のサポートも活用できる。</li> <li>○ 安全に対する配慮が必要な場面には、注意マークとともに説明文を赤字で強調して示している。</li> <li>○ 第3学年巻末に「植物」「昆虫」シール・カードが付属されている。</li> <li>○ 全学年AB判である。</li> </ul>